

教職員用

平成29年度版

津久見市体力向上

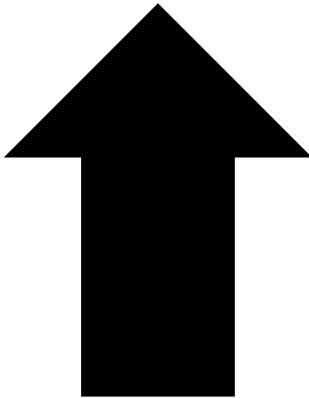
アクションプラン

～健康で心豊かな津久見っ子の育成を目指して～



津久見市教育委員会

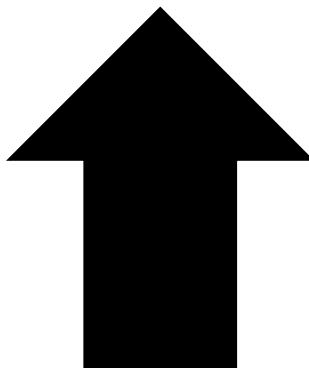
健康で心豊かな津久見っ子の育成



【テーマ】

運動大好き！元気でたくましい津久見っ子!!

食べる喜び、育む命！食で育て、食でつながる津久見っ子!!
～ふるさと津久見への愛着と誇り～



【3つの重点取組】

1. 学校の組織的な取組
～一校一実践の取組を通して～
2. 指導方法の工夫改善
～子どもの「体育の授業が楽しい」の声が聞こえる授業をめざして～
3. 運動習慣の確立
～家庭との連携を通して～

1. 学校の組織的な取組
～学校給食と連携した食育の推進～
2. 指導方法の工夫改善
～栄養教諭と連携した食育の推進～
3. 食生活習慣の確立
～家庭との連携を通して～



H28年度 津久見市体力・運動能力調査結果

1 平成28年度体力・運動能力等調査結果(県調査結果から)

○小学生(8種目) 全国平均以上の割合 46.8% (45／96種目) (H27 40.6 %)				
学年	男子	全国平均以上の種目	女子	全国平均以上の種目
1年生	7種目	反復横跳び以外すべて	5種目	握力、長座、シャトル、50m、立幅
2年生	5種目	上体、長座、反復、立幅、ボール投げ	4種目	上体、長座、立幅、ボール投げ
3年生	1種目	ボール投げ	2種目	立幅、ボール投げ
4年生	5種目	長座、反復、シャトル、立幅、ボール	6種目	上体、長座、反復、シャトル、立幅、ボール投げ
5年生	3種目	長座、反復、シャトル	3種目	上体、長座、ボール投げ
6年生	2種目	握力、上体	2種目	上体、ボール投げ
	男子 47.9 % (23／48種目)		女子 45.8% (22／48種目)	
○中学生(8種目) 全国平均以上の割合 64.5% (31／48種目) (H27 39.6%)				
学年	男子	全国平均以上の種目	女子	全国平均以上の種目
1年生	6種目	握力、シャトル以外6種目	7種目	立幅以外7種目
2年生	5種目	握力、長座、反復、50M、ボール投げ	6種目	上体、シャトル以外6種目
3年生	3種目	握力、長座、ボール投げ	4種目	握力、反復、立幅、ボール投げ
	男子 58.3 % (14／24種目)		女子 70.8% (17／24種目)	

2 児童生徒質問紙調査結果(全国)

平成28年度 児童生徒質問紙 調査結果(全国)(最も肯定的な回答のみの割合)					
	質問項目	男子H27	男子H28	女子H27	女子H28
小学校5年	運動が好き	56.6%	78.1%	60.3%	44.6%
	体育の授業が楽しい	56.2%	62.8%	58.3%	45.5%
	体育の授業の目標が示されている	33.8%	33.8%	60.5%	31.8%
中学校2年	運動が好き	42.5%	65.1%	55.5%	44.3%
	体育の授業が楽しい	42.1%	68.3%	53.3%	47.5%
	体育の授業の目標が示されている	36.0%	57.1%	49.6%	46.7%

3 総合評価のD+E層 津久見市経年比較・大分県との比較

	学年	津久見市(H27)	津久見市(H28)	全県(H28)
小学校	1年生 男子	27.1%	14.6 ◎	21.6
	2年生 男子	26.2%	18.6 ◎	25.1
	3年生 男子	21.5%	30.4 ▲	19.1
	4年生 男子	24.3%	20.4 ◎	21.6
	5年生 男子	24.1%	22.6 ▲	21.2
	6年生 男子	22.9%	25.8 ▲	21.7
	1年生 女子	27.9%	14.2 ◎	20.5
	2年生 女子	23.7%	19.8 ◎	22.9
	3年生 女子	20.4%	27.1 ▲	17.4
	4年生 女子	22.0%	13.4 ◎	19.5
	5年生 女子	20.2%	27.1 ▲	16.2
	6年生 女子	21.3%	20.7 ▲	17.9
中学校	1年生 男子	34.3%	28.1 ◎	32.1
	2年生 男子	24.5%	18.9 ◎	22.0
	3年生 男子	18.8%	13.8 ◎	15.9
	1年生 女子	10.8%	4.9 ◎	9.3
	2年生 女子	13.7%	6.8 ◎	10.6
	3年生 女子	17.6%	9.3 ◎	15.7
◎ 県より低い		昨年より低下		
▲ 県より高い		昨年より上昇		

4 平成28年度の児童生徒の実態ならびに取組の成果

【津久見市の児童生徒の特徴的な様子】

- 小学校男子が野球・サッカー等の社会体育のクラブに属している割合が高い。
- 小学校女子は、バレー、バスケ、体操、バドミントン等へ所属しているが少数。
- 中学校では、文化系の部活動が少なく、大半の生徒が男女とも運動部に所属しており、今年度は、体力・運動能力の数値に大きな伸びが見られた。
- 運動する児童生徒とそうでない児童生徒の二極化が顕著である。(特に中学校の女子生徒)

【平成28年度の成果】

- 体育・保健体育授業以外で、運動習慣化の確立の取組を行っている学校の割合 ⇒ 100%
 - ◆小学校においては、一輪車、長縄、縄跳び、マラソン、全校遊び、縦割り班遊びなどに取組んでいる。
 - ◆中学校においては、長縄大会やクラスマッチの練習、昼休みに体育館を開放しての集団スポーツ等に取組んでいる。
- 児童会・生徒会と連携した運動好きな児童生徒を育てる取り組みをしている学校の割合 ⇒ 100%
 - ◆小学校においては、体育委員会との連携やクラス遊び、縦割り班を活用した取り組みが進んでいる。
 - ◆中学校においては、生徒会企画による長縄大会・クラスマッチなどの取り組みが進んでいる。

※ 体育専科教員ならびに体力向上推進教員を核とした、体力・運動能力向上の取組が実を結び、確実に数値に成果が見られるようになってきた。特に中学校での数値の伸びが顕著である。さらに、各校の一実践の取組が定着してきていることが数値に表れていると判断できる。また、栄養教諭や栄養職員、ならびに養護教諭と連携した健康安全・食育の授業が定着してきているのも大きな成果と言える。

平成28年度の指標	達成状況・成果等
達成指標	<達成状況>
○運動好きな児童生徒の割合 小学校 男子 90%以上 女子 85%以上 中学校 男子 98%以上 女子 95%以上	○運動好きな児童生徒の割合 小学校 男子 89. 9% 女子 81. 2% 中学校 男子 90. 1% 女子 76. 2%
○運動嫌いな児童生徒の割合 小学校 男子 0% 女子 0% 中学校 男子 0% 女子 0%	○運動嫌いな児童生徒の割合 小学校 男子 7% 女子 12% 中学校 男子 1% 女子 3%
○全国平均以上の項目の割合 小学校 男子 45%以上 女子 55%以上 中学校 男子 50%以上 女子 50%以上	○全国平均以上の項目の割合 小学校 男子 47. 9% 女子 45. 8% 中学校 男子 58. 3% 女子 70. 8%

H29年度体力向上アクションプラン

【平成29年度に向けての課題】

- ・小学校は学年あるいは男女によって体力の状況にばらつきがあるが、男女とも「握力・50M走」の2種目において全国平均を下回っている学年が多い。一方、中学校では「握力・ボール投げ」の成績がよく、全体的に体力が高まっている。
- ・運動嫌いの傾向は改善されてきているが、特定の児童・生徒に意識の改善が見られていない。
(運動嫌いな子へのアプローチの具体が必要である。)
- ・体育の授業が楽しいと答える児童生徒の割合が少ない。特に、中学校の女子が顕著である。
- ・目標を意識・達成意識をもって授業に取り組むことができていない。
- ・体力・運動能力向上に向けた組織的・継続的な取組ができていない実態がある。
- ・体力向上に向けた一実践の取り組みが組織的にかつ計画的に実践されていない状況がある。



1. 学校の組織的な取組～一校一実践の取組を通して～

- 「運動大好き！元気でたくましい津久見っ子!!」のテーマに迫るため、「運動することを好きになり、運動の機会を広げる」を津久見市の共通目標として取り組みます。
- ★管理職の指導の下、体育主任を中心とした学校全体での「一校一実践」を推進します。
- 体育専科教員による「一校一実践」の取り組みのアドバイスを積極的に行います。
- 各校において体力向上推進チームを位置づけ、学校評価の4点セットと連動した校内の体育環境の整備、体育的行事の工夫改善、体力向上計画の検討等に組織的に取り組みます。
- 児童会・生徒会と連携した運動好きな児童生徒を育てる取り組みを推進します。
- 体育・保健体育授業以外でも、運動習慣化の確立の取り組みを推進します。
- 管理職会議ならびに体育主任会議等で各校の取組の紹介・交流を行います。



2. 指導方法の工夫改善～子どもの「体育の授業が楽しい」の声が聞こえる授業をめざして～

- ★体育の授業において、「めあて」「振り返り」が明確に位置づけられた授業づくりを推進します。
- 体育専科教員の活用方法の工夫を行います。
 - ◆小学校3・4年の体育専科として本務校及び近隣校において、TT指導の授業を行います。
 - ◆市内の教員を対象に、年に3回の公開授業を行います。★小学校教員は必ず1回授業を参観
 - ◆指導法の工夫改善等、体力向上の効果的な指導について市内各校に広げます。
- 校内で体育、保健体育の互見授業を行い、運動好きな児童・生徒を増やすための授業改善に組織的に取り組みます。
- 体育の授業において、サーキット・体幹・補強トレーニングを位置づけ、継続して行います。

3. 運動習慣の確立～家庭との連携を通して～

- ★運動習慣確立のための家庭と連携した取り組みを推進します。通信等を通して啓発を図ります。

H29年度食育推進アクションプラン

1. 学校の組織的な取組～学校給食と連携した食育の推進～

- 「食べる喜び、育む命！食で育て、食でつながる津久見っ子!!」のテーマに迫るため、「給食を通して食についての学びを深め、感謝の思いを育む」を津久見市の共通目標として取り組みます。
- ★管理職の指導の下、給食主任・食育担当者を中心とした学校全体での「一校一実践」を推進します。
- 栄養教諭による食育「一校一実践」の取り組みのアドバイスを積極的に行います。
- 児童会・生徒会と連携した食育の取り組みを推進します。
(郷土料理の紹介・地産地消の取組の紹介・残菜ゼロ運動・調理員や生産者への感謝状等々)
- 給食主任及び食育担当者会議で優良事例等の各校の取組の交流を行います。
- 給食だよりの充実と活用方法の工夫改善を図ります。



2. 指導方法の工夫改善～栄養教諭と連携した食育の推進～

- 栄養教諭の活用を推進します。
 - ◆すべての学校において、栄養教諭と連携した食育の授業を行います。
 - ◆市内の教員を対象に公開授業を行います。
 - ◆指導法の工夫改善等、食育の効果的な指導について市内各校に広げます。
 - ◆スクールヘルスアップ事業の中核として、望ましい食生活のあり方を市内に広めます。
- ★校内で栄養教諭と連携した学級活動や家庭科、保健体育における食育の授業の互見授業を行い授業改善に組織的に取り組みます。
- 各校において保健だより等を活用した、日常的な食育を推進します。
- 「食べることは喜び」「食べることは生きること」「ふるさと津久見の食のすばらしさ」を感じ身につける児童生徒を増やすために、指導の工夫を図ります。



3. 食生活習慣の確立～家庭との連携を通して～

- ★食生活習慣確立のための家庭と連携した取り組みを推進します。
 - ◆「津久見の子ども（小中学生）みんなで守ろう！」の徹底⇒『早寝・早起き・朝ごはん』
 - ◆給食だより・保健だより等を活用し、家庭と連携した食育推進の啓発を図ります。
- 「輪(わ)食(く)の日」の取り組みを、各校の実情に応じて家庭と連携して推進します。

家族で一緒に食卓を囲み、楽しく食事をして、家族のきずなを深める日です。家族そろって食事をしたり、子どもと一緒に準備をしたりすることは、子どもたちが食事の所作（ふるまい）やマナー、調理技術を身に付けることにもつながります。家族で食について会話し、考える日にしましょう。

